

ふじえだ  
市議会  
だより

平成31年1月20日

第209号

発行：藤枝市議会

編集：市議会広報広聴委員会

TEL 054-643-3552

FAX 054-646-2030

藤枝市岡出山1-11-1

<http://www.city.fujieda.shizuoka.jp/>

市ホームページよりお入りください



「春 間近」 画：西尾和廣さん

開かれた議会を目指して

# 平成30年度 議会タウンミーティングを開催しました

市議会では、直接市民へ議会活動の状況を報告し、議会や行政に対するご意見、ご提言を聞く貴重な場として議会タウンミーティングを開催しました。

参加された165名の皆様からいただいた貴重なご意見、ご要望は、今後の議会活動の参考とさせていただくとともに、市の施策に関わる事項については、西原議長から北村市長に申し入れを行い、引き続きその速やかな対応を求めています。また、地域のイベント等と重なってしまうため、議会タウンミーティングの開催時期を変更してほしいというご意見を多くいただきましたので、来年度検討してまいります。

ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。

開催状況：

10月13日(土)14時～ 稲葉地区交流センター、文化センター  
10月14日(日)14時～ 西益津地区交流センター、岡部支所分館



## 議会タウンミーティングでの主なご意見、ご質問と回答（抜粋）

- 問** 災害時の避難場所となる体育館などに空調を設置してほしい。
- 答** 体育館など未設置のところについては議会としても実現するようはたらきかけていく。
- 問** 小中学校一貫教育の狙いと課題点は。
- 答** 狙い、目的としては、小学校から中学校に移行する時の環境の変化に適応できない「中1ギャップ」という現象の解消を図ることができる。課題としては、小中学校の学区が同一でない場合のクラスの問題、通学の困難、教員の確保などがある。
- 問** もっと田中城跡の保全に取り組んでほしい。
- 答** 他にないものであり、価値のあるものである。市にはたらきかけていく。
- 問** 先日の台風で家が停電した。各地区交流センターの機能を充実すべきではないか。
- 答** 9月に給水タンクやトイレトレーラーの整備を決めた。大型の発電機設置の要望もあり、市に提言を行う。
- 問** 地震以外の、豪雨等を想定した訓練があってもいいのでは。
- 答** 来年の6月をめどに水害マニュアル、豪雨時等の水害ハザードマップ等を見直し、水害訓練も併せて実施する予定である。

## アンケートの回答より

- 対面形式で意見交換するのではなく、インタビュー形式で出席者の生の声を拾って歩いたらどうか。
- 市政のチェックのみならず、積極的に提案、リードしていただきたい。
- 女性、若者の声を聞く機会をつくってほしい。
- 委員会を傍聴してみたい。

# 11月定例会で審議された議案・請願

## ◆全会一致で原案可決・同意・適当と認められた議案◆

議案番号	議案名
第72号議案	平成30年度藤枝市一般会計補正予算（第3号）
第73号議案	藤枝市がん対策推進条例
第74号議案	藤枝市民西益津温水プール・藤枝市民大洲温水プール・藤枝勤労者体育館の指定管理者の指定について
第75号議案	藤枝市福祉センターきすみれの指定管理者の指定について
第76号議案	大久保ガラススキー場・大久保キャンプ場の指定管理者の指定について
第77号議案	平成30年度藤枝市一般会計補正予算（第4号）
第78号議案	藤枝市議会議員の議員報酬及び期末手当の支給並びに費用弁償条例の一部を改正する条例
第79号議案	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
第80号議案	藤枝市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
第81号議案	建設工事請負契約の締結について（藤枝市立小中学校空調設備整備事業）
第82号議案	副市長の選任について
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦について
発議案第6号	認知症施策の推進を求める意見書
発議案第7号	予算特別委員会の設置について

## ◆不採択とされた請願◆

○賛成 ×反対

議案番号	議案名	議員名（議席順）																					
		八木勝	増田克彦	遠藤久仁雄	天野正孝	深津寧子	神戸好伸	多田晃	油井和行	鈴木岳幸	平井登	石井通春	山本信行	松崎周一	山根幸裕	藪崎和彦	岡村好男	大石信生	大石保幸	植田裕明	池田博	西原明美	
請第1号	藤枝市における適正な文書管理と情報公開の徹底を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	※

※議長は採決には加われません。

# 本会議の

# 討論

11月定例会では、賛否の分かれた議案について、討論が行われました。ここでは、その一部を掲載します。

### 請第1号

藤枝市における適正な文書管理と情報公開の徹底を求める請願

#### 賛成 大石信生議員

委員会では、請願の根拠となっている公文書の破棄や改ざんの事実はなかったと完全に否定したが、藤枝市情報公開審査会が「遺憾であり」と強く指摘し、不適切な文書管理の責任を問われて病院職員が行政処分を受けたという事実がある。公文書の破棄や改ざんの事実がないとするならば、病院職員が処分を受けたことをどう説明するのか。本請願は、審査会の指摘を重大とみて、本市の文書管理について議会として調査し、市民へ明らかにし、

さらに本市のすべての分野で文書管理を徹底するための具体的な方策を市長に具申することを求めたものである。審査会の審査をまともを受け止めれば、この請願は採択されなければならず賛成する。

は、職務上作成しても、個人の作成段階にある文書は公文書にあたりないこととしている。さらに文書の修正についても文書の方向性を違つことなく、適正な範囲内で修正を加えたものについては修正の前後に齟齬はないとしていることから改ざんにはあたらないと考える。

#### 反対 八木勝議員

市立総合病院が患者給食業務委託に際して行った業者へのヒアリング記録の廃棄、あるいは開示した公文書の修正については、これまで藤枝市情報公開審査会の審査を経て検証が行われ、一連の事務手続きの透明性についても、住民監査請求に対する監査により、十分な検証が行われている。国のガイドラインで

よって、市立総合病院における公文書の破棄や改ざんの事実はなく、これを理由に、市全体の適正な文書管理や情報公開の徹底を求めることは、論拠を欠くものと言わざるを得ないため、本請願の採択について反対する。

## 人事案件

次の人事案件について、本議会は、同意・適当と認めました。

### ◆第82号議案

副市長

栗田 隆生さん

(駿河台二)

### ◆諮問第5号

人権擁護委員候補者

萩原 一郎さん

(岡部町内谷)

## 議員発議

議員提出による発議案2件(うち意見書1件)が提出され、原案のとおり可決しましたので、その要旨をお知らせします。

### ◆発議案第6号

「認知症施策の推進を求める意見書」

認知症は、今や誰でも発症する可能性があるとともに、誰もが介護者となり得るため、認知症施策の推進は極めて重要である。

認知症と診断されても尊厳をもって生きるこ

とができる社会の実現を目指し、政府においては、認知症施策のさらなる充実、加速化を目指し、基本法の制定も視野に入れ、取り組みことを強く求める。

### ◆発議案第7号

「予算特別委員会の設置について」

予算特別委員会是一般会計予算のみを全体会審査会、さらに全体会という流れで審査する。審査は全議員が予算第1審査会、予算第2審査会に分かれてこれまでと同じように行う。これにより全議員が予算特別委員会審査にあたることになる。



## 常任委員会の審査

各常任委員会で行われた審査の中から主な質疑の内容をお知らせします。

## 総務文教委員会(請願審査)

### ◆請第1号

藤枝市における適正な文書管理と情報公開の徹底を求める請願

(趣旨)

「藤枝市議会として、ヒアリング記録の破棄とヒアリング結果比較表の改ざんについて、実情を十分に調査し、結果を市民に明らかにしてほしい。藤枝市のすべての部門で適正な文書管理を徹底するよう、具体的な方策を検討し、市長に具申してほしい。」

示されたそれぞれのヒアリング結果比較表で、「ヒアリング日」の項目が削除されていたことが改ざんと言える。

### 【市に対する質疑】

問 本請願の趣旨である、ヒアリング記録のメモは公文書かどうか考えを伺う。

答 国の行政文書の管理に関するガイドラインに基づき、ヒアリング記録のメモは、個人で使用し、組織的に用いていないので、公文書には該当しないと解している。なお、そのメモは、すぐ清書という形で比較表に書き写し、公文書ではないという判断である。

問 請願の趣旨では、ヒアリング結果表の改ざんがあるが、どう捉えているか伺う。

答 情報公開審査会の指示で確認したが、病院は、ヒアリング内容を求める開示請求に対して、いつヒアリングが行われたかについては、本質的な比較とは、特に関係がないという判断をしたということであった。これに対し、情報公開審査会は、その回数等を確認した時に特段そこに大きな差があるわけではない、文書に与える影響はないと判断し、「修正前後の文書の内容に齟齬はない」という結論を出した。よって改ざんではないと理解している。

問 ヒアリング結果比較表を改ざんしたと言える理由を伺う。

答 平成29年3月3日付公文書開示請求と平成29年3月24日付公文書開示請求で

総務文教委員会（議案審査）

健康福祉委員会（議案審査）

建設経済環境委員会（議案審査）

◆第72号議案  
「平成30年度藤枝市一般会計補正予算（第3号）」

**問** 小中学校空調設備整備事業について、来年度、小中学校のエアコンを整備する自治体が全国的に多い中、本市は、来年度6月末までに、確実に整備できるのか何う。

**答** 小中学校の空調設備整備の募集要項では、平成31年6月末までに、市内小中学校27校へエアコンの設置をすることを条件としている。

また、参加企業体へのプロポーザル審査の中で、心配されるエアコン機器や、地元事業者の人工などは確保できていると聞いている。

◆第74号議案  
「藤枝市民西益津温水プール・藤枝市民大洲温水プール・藤枝勤労者体育館の指定管理者の指定について」

**問** 西益津温水プール、大洲温水プール、藤枝勤労者体育館の3施設を、1つの指定管理者にまとめていく理由を何う。

**答** プール施設の管理は専門性が高く、知識、技術を有した指定管理者が2つの施設を管理するという効率性を重視している。さらに、藤枝勤労者体育館と大洲温水プールは、地域性を考慮し、また、近接した異なる2つの施設の相乗効果を期待し、3つの施設を1つの指定管理としている。

**問** 指定管理者の評価にあたって、平成31年度からの新たな提案事業について何う。

**答** 各施設の会議室や、利用者が少ない冬季のプール施設での新事業の提案があった。また、大洲温水プールには、1階へスポーツスタジオ、2階へラウンジの設置、また、地域と連携したお祭りやイベントの実施、放課後子どもクラブの設置などの提案があった。



現地審査（大洲温水プール）

◆第73号議案  
「藤枝市がん対策推進条例」

**問** 第2条の用語の定義において、事業者についての定義づけがされていない。事業者の定義について何う。

**答** 事業者とは、市内で事業活動を行っている者を指している。一般的に使われている言葉であり、他の市町を参考にし定義づけはしなかった。

◆第75号議案  
「藤枝市福祉センターきすみれの指定管理者の指定について」

**問** 監査について一連の流れはどのように行われているか何う。

**答** 毎月報告書の提出を求め、所管課が業務履行チェックシートを用いたチェックを行っている。また、年に1回、所管課による評価、さらに2～3年に1回、評価委員会による評価を行っている。



現地審査（きすみれ）

◆第76号議案  
「大久保グラススキー場・大久保キャンプ場の指定管理者の指定について」

**問** 大久保振興会の高齢化問題についてはどのように対応していくのか何う。

**答** 現在、大久保振興会で20代の青年を雇っている。来年度からは大久保地区で活動する若手の地域おこし協力隊も要請し、新陳代謝を図っていく。

**問** 大久保地区の人口減少が進み、振興会の存続が危ぶまれた場合、施設の運営はどうしていくつもりか何う。

**答** 将来を見据えて、中山間地域の他施設と協力して運営することを前提とした、他団体との話し合いを開始するところである。



現地審査（大久保キャンプ場）

11月定例会では、17名の議員が市政全般について質問しました。  
ここでは、その要旨を掲載します。(掲載順は質問順です。)

## 12月6日の質問者

- 鈴木 岳幸 議員……………6ページ
- 遠藤久仁雄 議員……………7ページ
- 小林 和彦 議員……………7ページ
- 石井 通春 議員……………8ページ
- 植田 裕明 議員……………8ページ
- 山本 信行 議員……………9ページ

## 12月7日の質問者

- 池田 博 議員……………9ページ
- 天野 正孝 議員……………10ページ
- 油井 和行 議員……………10ページ
- 増田 克彦 議員……………11ページ
- 八木 勝 議員……………11ページ
- 神戸 好伸 議員……………12ページ

## 12月10日の質問者

- 藪崎 幸裕 議員……………12ページ
- 山根 一 議員……………13ページ
- 平井 登 議員……………13ページ
- 岡村 好男 議員……………14ページ
- 大石 信生 議員……………14ページ

本会議の様子 **議会中継** や  
**議会会議録** が藤枝市議会  
ホームページでご覧いただけます。



市民クラブ

鈴木 岳幸 議員

### 赤ちゃんポストについて

**問** 生活苦や望まない妊娠出産などにより、子どもの養育が困難

になった親による、子どもの遺棄や育児放棄などを防ぐため、匿名でも子どもを預けることができる『赤ちゃんポスト』が、先進国を中心に世界中で設置されているが、市ではどのように考えるか、伺う。

答 『赤ちゃんポスト』には賛否両論があり、赤ちゃんの命を守るためには、妊婦及び育児をする親への支援を充実させることが何より重要と考える。

**問** 養育が困難になった親のため、子どもの命を守るために、藤枝市ではどのように対応しているか、市内でも『赤ちゃんポスト』の設置ができないか。



子どもを守るためにできること

答 市では精神に不安がある等の、いわゆる特定妊婦への支援や、産後支援の充実を重点施策とし、個別事例に応じた丁寧なケアを行い、養育困難となる親の早期把握と支援に努めている。それでも養育困難な場合には、児童相談所と連携し、乳児院への一時保護や入所措置等の対応を行っている。今後も『赤ちゃんポスト』の設置ではなく、関係機関と連携し、リスクのある妊産婦への支援を強化充実していく。

### 多文化共生について

**問** 外国人の居住者・来訪者は、今後も増加していくことが予想されるが、地域のコミュニティに参加していただく取り組みはあるか伺う。

答 外国人の方も地域社会の一員であり地域住民と同様に回覧などで催事案内を行い、自治会主催の地区運動会やふれあいまつり等にも多くの方が参加されている。また、地区交流センターの外国語講座や料理講座で外国人の方に講師をお願いしているセンターもある。

今後も多くの方が地域コミュニティに参加できるよう、交流センターの外国人講師による講座を全市に広げるなど、異文化交流の場を設け、交流センターが外国人のグループの方と地域の橋渡し役を務めるなど、日本人と外国人の区別なく、共に支え合うコミュニティづくりに取り組んでいく。



志太創生会

遠藤久仁雄 議員

総合運動公園多目的広場(人工芝広場)の整備

問 人工芝広場に生まれ変わり、照明設備が整ったことにより、

利用者数はどのように変わったのか。

答 昨年度の多目的広場利用者は合計で4万8千人であり、前年度比で40%増加している。

問 立派な人工芝広場であるが、残念ながら更衣室や避難場所がない。今後の計画の見通しを伺う。

答 更衣室の設置については、落雷に対する避難場所としての機能確保も併せて、重要な課題であると認識しておりますので、今後、総合運動公園全体の再整備計画を進める中で、人工芝広場の付帯施設の整備を検討していく。

市立総合病院の駐車場問題を考える

問 駐車場不足により、病院近くの道路で交通渋滞が発生し、病院利用者及び地域住民に迷惑が及んでいる。本年度、何件の渋滞が発生しているのか。また、昨年度との件数の比較はどうか。さらに曜日別の発生件数も伺う。

答 病院利用者及び地域住民の皆様には、大変ご迷

惑をおかけしています。本年度、4月から11月まで、19件の渋滞があり、昨年度より3件の増加である。主に火曜日と水曜日に渋滞が集中している。

問 病院として、本年度駐車場確保に向けてどのような努力をされたのか伺う。

答 内瀬戸地区に駐車場37台分を確保し、病院職員が使用している。以前からのエスポート周辺の65台と合わせ、朝晩それぞれ約1時間、病院との間をマイクロバスで送迎している。

問 これまでも質問をしているが、病院の敷地内に新たに駐車場を増設することはできないのか。

答 病院駐車場の地盤の状況、建築基準法やコストの面などから、事業化は困難な状況にある。

問 病院近くの住宅地を見ると、居住はしているものの、現在では使用されていない駐車場を見受ける。住民の合意を得たうえで、これらを病院関係者の駐車場として、使用することはできないものか、提案いたします。地域住民の協力を得ることで、良い効果が生まれると思うが如何か。

答 病院としても、一件でも駐車場としてお借りできればありがたい話です。ご協力をいただきたい。



12月19日(水)午前10時病院前で撮影



志太創生会

小林 和彦 議員

高洲地区の渋滞解消と小川島田幹線の事業化に向けた取り組みについて

問 旧田沼街道の安全対策について

答 小川島田幹線の整備が根本的な解決策ではありますが、長期間を要することから、歩行者の安全を確保する為、歩行空間の確保や視覚的に車両スピードの抑制が期待できるグリーンベルトの設置を検討していく。

問 小川島田幹線の高洲地区の事業主体と進捗について

答 本路線は焼津市から島田市を結ぶ広域幹線道路ですので、県施工を要望していくとともに、従来の用地のみを買収する直接買収方式に限らず、整備後の不整形な狭小残地問題の解消や地域の意向を考慮した整備手法を検討していく。

問 小川島田幹線の高岡地区の整備について

答 広域的な効果が発揮できるのは、全線開通ですが、



小川島田幹線の整備を

事業化は整備延長が長くなることから、道路整備の利便性の向上に繋がる工区の細分化や整備箇所の優先順位について検討していく。

問 小川島田幹線の県道小川和田線が並行している焼津市側の路線整備の進捗について

答 県道高洲和田線の代替路線として、県が焼津市において東名高速道路以東を整備中であるため、東名高速道路以西も県施工による整備を実現するよう要望していく。

問 小川島田幹線の早期の事業効果について

答 小川島田幹線の高洲、高岡地区の整備については、物流の効率化や、渋滞の解消、防災面でも利用が期待できる、南部地域において大変重要な東西交流連携軸として考えており、現状の課題を整理し、できるだけ短い事業期間の中で、利便性の向上につながる工区の細分化や整備箇所の優先順位などを検討していく。

問 事業化に向けた補助制度や総事業費と補助率一般財源について内訳は

- 総事業費 130億円の内訳
- ・国交付金事業費の50% 65億円
- ・起債(借金) 45% 58億5千万円
- ・一般財源 事業費の5% 6億5千万円

※起債の内訳

- 交付税借置(事業費の10%) 13億円
- 償還金(借金の返済額) 45億5千万円



日本共産党

石井 通春 議員

市民と共同し  
高すぎる国保税引き下げを

**問** 国保税が高い原因は、国が地方自治体に対する国庫負担を削減したことにある。全国知事会や全国市長会は1兆円の公費投入を求めている。私も賛成だが、本市もこの立場か。

答 被保険者の負担上昇の抑制に向けて県と連携し引き続き国に対し強く要望していく。

**問** 災害等一時的要因に限らず、失業疾病などで所得減となった世帯に対する本市独自の国保税減免制度があるが、過去の議会で「周知に努める」といいつつ全くと言っていいほど活用されていない。

答 納税相談に来た市民に対し、減免対象となる市民は納税課から国保年金課担当者にスムーズにつなげる取り組みをしていく。

**問** 国保にだけある「均等割」(収入の多寡に関わらず家族数に応じて41000円の課税)



高すぎる国保税引き下げを

がさらに国保税を高くしている。値下げは私の公約、子育て世帯だけでも「均等割」値下げを検討すべきではないか。

答 県の保険料水準の統一化の中で、議論が出てくるのが望ましい。

病院と市民に損害を与える給食委託中止の判断を

**問** 4月の病院給食委託開始以降、受託業者の職員だけでは厨房業務が回らず市の職員が毎日3～5名応援しなければならぬ状況が続いている。市民は委託料以上の負担を強いられている。契約違反ではないか。

答 業務移行に際し一定の栄養科職員の引継ぎは必要であり損害と認識していない。ただし4月以降厨房業務に従事した職員人件費を負担する申し出が業者からあり合意している。

**問** 市民利益が守られた点で前進だが、損害と認識しないのに、なぜ業者が負担する事に合意する必要があるのか。

答 損害賠償しかありえないのであれば、業者が費用を負担する場合もありうる。

**問** 11月6日以降、市職員の応援なく受託会社職員だけで厨房業務がこなされているが、来年度の委託契約期間中この状況が続けられるのか。

答 現状の状況が続く限り、病院の職員が応援に入ることはない。



藤新会

植田 裕明 議員

次年度戦略方針から

**問** 高齢者が活躍するまち、次年度の目玉事業を伺う。

答 「高齢者が活躍するまちづくり」を政策の基軸として位置付け、将来にわたり持続可能な市政経営を進めていく。

「次年度予算案の目玉事業」として、まずは、元気な高齢者を中心に、地域住民の力で、日常生活において支援が必要な高齢者を手助けする取組を促進するため、「地域支え合い手助け活動支援事業」を新規事業として展開していく。

新たに地域支え合い介護予防教室「ふじえだアクティブクラブ」事業、高齢者の移動支援として、元気な高齢者が運転ボランティアとなって行う外出支援や、地域貢献に意欲的な法人と地域住



元気な高齢者が高齢者を支える

民との協働による 外出支援を市が後押しする、「地域支え合い出かけっCAR事業」を創設する予定である。

病院事業の次年度予算案と戦略について

**問** 次年度の予算編成の概要と戦略方針を伺う。

答 がんと救急に強い病院としており、特に、がん医療の質的向上を図り、安心して入退院できる環境を更に整え、また、総合診療医の育成強化や、急性期病院としての組織体制の強化も図っていく。

具体的には、市立総合病院が、志太榛原医療圏域で唯一の「地域がん診療連携拠点病院」の指定を国から受けており、また、今議会に上程中の「藤枝市がん対策推進条例」の趣旨に沿い、質の高いがん医療を提供し続けるため、高い水準のがん医療に対応する手術室の整備などを計画している。

**問** 医療費は消費税非課税のため、消費税支払は損金として計上する。病院経営に大きな影響のある税率アップへの対応をどう考えているか。

答 平成29年度決算での試算では、通年ベースで約1億3,200万円の支出の増加が見込まれる。

制度上の問題点については、全国の病院に共通した課題であり、国による抜本的な見直しを求め、全国市長会を通じて要望を重ねており、今後も引き続き、病院の安定経営に向けて、粘り強く要望活動を続けていく。





公明党

山本 信行 議員

通学カバンの重さと子ども達の健康について

問 本市の対応策について伺う。

答 9月6日付けの文部科学省通知等により、児童生徒の携行品の重さや量への配慮を全ての小・中学校で進めている。具体的には「持ち帰る物」と「学校に置いておく物」を明確にする。授業の内容を考え、同じ日に大きな荷物が集中しないようにする。各教室に収納ボックスを設け、置き場所を確保する。

さらに、市内全小・中学校のICT教育環境を整備し、デジタル教科書の使用、プロジェクターによる資料掲示により、児童生徒の個別資料の持参軽減等、子どもたちの身体への負担を減らすよう、今後も学校に指導していく。

健康予防の取り組みについて

問 肺炎球菌ワクチンの定期接種制度は、来年度から65歳のみとなるが、救済措置について伺う。

答 国では5歳刻みの経過措置の継続について、年内に結論をまとめる方針を打ち出している。

本市としては、死亡率が低下していることから未

接種者全てが接種を受けられるよう、時限的な措置を講じながら、国には経過措置の継続を要請していく。



藤枝市の健康延伸等について

問 2040年を展望した本市の取り組みについて伺う。

答 本市が持続的に活力を維持するためには、高齢者の活躍が重要であると考え、「高齢者が活躍するまちづくり」を新たに施策の基軸として打ち出した。高齢者の就労については、クラウドソーシングの活用や、シルバー人材センターを中核に、ハローワークや商工会議所、更には民間事業者と連携し、多様な高齢者就業の機会を創出していく。

問 フレイル対策の具体を伺う。

答 アクティブシニアチェックを行い、必要な人に適切な早期介入を行うためにアクティブシニア大学を開催し参加を勧める。さらに社会参加の機会を創出するためのふれあい会食会や、ふれあいサロンの運営支援を行っている。また、老人クラブ等に健康講座や、低栄養予防を目的とした出前講座を実施した。



藤新会

池田 博 議員

いじめ・不登校問題について

〈小・中学校の不登校児童・生徒の状況について〉

問 過去5年間の不登校児童・生徒の人数の推移について伺う。

答 小学校は、平成25年度35人、26年度27人、27年度29人、28年度36人、29年度46人です。中学校は25年度111人、26年度120人、27年度136人、28年度110人、29年度99人と推移しています。

問 不登校児童・生徒の減少に向けての取り組みについて伺う。

答 すべての子ども達が「学校生活が楽しい」と感じる環境づくりに取り組んでいくことが何より大切であり、そのために、「子供が安心して学べる学校づくりに向けた指針をもとに「思いやり溢れる学校づくり」に引き続き力を入れて取り組んでまいります。

〈小・中学校のいじめ問題の状況について〉

問 いじめ件数の減少の取り組みについて伺う。

答 「子どもが安心して学べる学校づくり」を今後も継続するとともに、「いじめ防止対策推進法」に基づき児童相談所、法務局、警察やPTA関係者などにより構成される「藤枝市いじめ問題対策連絡協

議会」と連携し、いじめを許さない学校づくりに向けて体制強化を図ってまいります。

藤枝市まちをきれいにする条例について

問 ごみのポイ捨ての現状と今後の取り組みについて伺う。

答 人の往来が多い駅周辺のほか、一部の道路や公園、店舗などで、心ない人からのペットボトル、菓子類の袋、たばこの吸殻などのポイ捨てが続いている状況であります。その対策としては、環自協委員や環境美化推進委員の皆様と市が連携して、美化活動や不法投棄防止パトロールを行っています。今後も、まちの美化は市の品格につながることから、関係者の皆様との協力体制を密にして、市民や市内に滞在する全ての人達の環境美化に対する意識の向上に努めてまいります。



きれいなまちを維持していきましょう



会派に属さない議員

天野 正孝 議員

未来の藤枝に向けた  
対策について

問 認知症対策の実績を伺う。

答 認知症サポーター養成講座を11月中旬までに23回開催、行方不明者になる恐れのある高齢者を事前登録する「認知症見守りネットワーク事業」は延べ208人の登録者に対し、関係機関と連携した迅速な対応につなげている。



認知症支援ネットワークガイド

問 高齢者の居場所づくりの支援について伺う。

答 今後、居場所づくり協議会、市社会福祉協議会、行政とで協議の場を設け、必要とされる支援につ

て市社会福祉協議会と調整していく。

問 こども医療費助成と子ども食堂支援を伺う。

答 医療費助成は、県市長会会長として、県による市町助成の拡充を働きかけている。今後、子ども食堂など居場所づくりへのボランティアの動きにできるだけ支援をしていきたい。

問 藤枝独自の給付型奨学金制度について伺う。

答 今後、示される国の制度の詳細や、本市のUターン施策を踏まえ検討を進めていく。

問 障がい者雇用の市内現状と雇用安定への行政としての働きかけについて伺う。

答 本市の状況は、2.24%。法定雇用率を達成している企業は58.6%。就労移行支援、就労継続支援等の利用を受けて一般就労に結びついた人は、平成25年度から平成29年度までの5年間で42人おり、現在も一般就労している人は26人。今後は、農福連携の拡大、テレワークに対する助成制度の創設、ジョブコーチ活用時の本市独自の助成制度の創出など、安心して働き続けられる環境づくりを推進する。

問 IターンUターン施策の展開を伺う。

答 これまで市内企業へのマッチング説明会などを島田市や焼津市と合同で開催。常葉大学に依頼し、「学生が選んだ魅力ある企業」の冊子を発行。来年度に向けて国で検討中の首都圏からの地方に移住への最大100万円の給付金等も最大限活用する組織体制整備に取り組む。



藤 新 会

油井 和行 議員

藤枝市のスポーツ振興について

問 インターネットを利用した施設予約や予約確認について

答 本市では、いずれのスポーツ施設でも、インターネットを利用した予約に対応しておらず、予約の確認も、一部の施設での実施にとどまっているが、今日のインターネット社会、ICTやAIの活用が人口減少社会では必須と言われる中、いち早くICTの活用に踏み切った本市だからこそ、そうしたインターネット環境の整備が急務であると実感しています。スポーツ施設に限らず、多くの市民が利用する施設にインターネットによる予約システムを導入すれば、スポーツや文化などの様々な分野で、市民の皆様が参画しやすくなり、市民サービスの向上だけでなく、職員の業務量削減という観点からも、大変有益であると考えています。そこで、市が保有・管理するスポーツ及び文化施設、地区交流センターなどの公共施設の予約システムについては、来年度から順次導入を図るべく、来年度の当初予算に計上しています。今後は、予約システムの早期整備と、周知による普及に力を注ぎ、スポーツ・文化施設の機能の充実を図ることにより、市民

の健康寿命の延伸、生涯スポーツなどの推進はもとより、より質の高い市民サービスを提供してまいります。

藤枝市の防災訓練について

問 宿泊避難訓練の実施について

答 県の調査では、自主防災組織を対象にしたアンケート調査では、「避難所運営について不安がある」が7割、その理由として「避難所の運営方法が分からない」が4割でした。一部の自主防災会においては、避難所運営訓練を実施しているが、限定的な内容にとどまっているため、より実践的な避難所運営訓練への発展を見据えると、避難者の生活サイクルに沿った宿泊型訓練の実施は大変有用であります。宿泊型避難訓練の実施については、まずは募集により参加する積極的な市民と市職員が避難生活を体験し、その検証や課題の整理・検討を行い、訓練実施に必要な環境を整えた上で、自主防災会が参加する訓練に広げていき、有事の際に確実に機能する避難所運営体制の構築につなげてまいります。



アルミ缶を使った炊飯訓練



志太創生会

増田 克彦 議員

二酸化炭素排出量削減への取組について

問 本市における二酸化炭素(CO2)排出量の傾向、今後の削減目標の設定とその達成に対する取組を、公共施設/事業者/一般家庭の3対象について伺う。

答 公共施設：H28年度までCO2排出量は減少傾向にあったが、H29年度は前年比微増。目標はH32年度までにH26年度比で20%以上の削減。取組としては省エネ型の空調設備への転換や照明のLED化などを進める。また、公共施設への再生可能エネルギー設備及び蓄電設備の設置方法や費用対効果を調査し、導入への仕組みづくりを進める。

事業者：出荷額/業務用床面積が成長している中、CO2排出量はH26年度ではH24年度より1.1%削減。目標はH32年度までにH24年度比で23%以上の削減。市として、「エコアクション21」と「企業エコチャレンジ事業」への取組を促進し、地球に優しい事業活動を定着化することにより、市全体の環境負荷低減を図り、市内事業者の経営体力強化、社会的評価向上につなげていく。

一般家庭：H26年度の各家庭からの一人あたりCO2

排出量は全国平均・県平均を下回っており、H24年度比7%削減した。目標はH32年度までにH24年度比で23%以上の削減。取組として、エコファミリー宣言、環境マイレージなどの啓発事業を進めている。さらに本年度より「My COOL CHOICE in (マイクールチョイスイン) ふじえだ」を展開している。



地球温暖化により海面上昇が危惧される

男女共同参画の推進について

問 「女性活躍」への具体的取組について伺う。

答 ①男女がともに家事・育児・介護に向き合える環境の整備…保育所や認定こども園の拡充、男性の介護講座の開催、社会全体で子育てや介護を支える仕組みづくりに取組む。

②政策・方針決定過程への女性参画の推進…審議会等への女性参画の促進、女性職員の人材育成。

③働き方改革とワーク・ライフ・バランスの推進…セミナーの開催、クラウドソーシングなどICTを活用した働き方改革の推進など、個人と事業者に対し積極的に働きかける。



市民クラブ

八木 勝 議員

本市の上水道経営戦略の目指す姿について

問 「水道民営化を含む水道法改正案」が国会にて成立しました。世界の流れに逆行するかのような法改正かと思われるが藤枝市としての考えを伺う。

答 将来にわたり、人口減少や高齢化が進んだ社会であっても、安全で安心な水をすべての市民に供給する事を使命と考え、収益にこだわらず、自ら安定した運営基盤を維持することに主眼を置いているので、以前からお示ししている通り、現在のところ民営化の考えはありません。

問 水道管の老朽化と料金値上げについて伺う。

答 本市は平成23年度からの基本計画で、基幹管路の耐震化や老朽化対策などを見込んでおりましたので、現状においては料金の値上げの予定はありません。



自転車活用推進法について

問 平成29年5月に「自転車活用推進法」が国で施行され、市民が自転車を活用することで健康予防・環境日本一を掲げる藤枝市としてはメリットも多くあると思うが、当市でも平成30年3月に「自転車通行空間ネットワーク整備事業計画」が策定され、この関連性と位置付けについて伺う。

答 当該整備計画は、自転車活用推進法に基づいて策定した計画ではないが、推進法の基本計画の一つである、「良好な自転車交通網を形成するために必要な自転車専用道路、自転車専用車両通行帯の整備」に合致した計画であると認識しています。

問 自転車活用による観光促進政策について伺う。

答 自転車通行空間帯を整備し、市内11か所にIoTを用いたシェアサイクルステーションを設置し、観光客に対しては、シェアサイクルの利便性、回遊性と併せて、玉露の里や蓮華寺池公園また、体験型の観光情報を発信し、国内外の観光客の誘致を積極的に進めていきます。



藤新会

神戸 好伸 議員

市道他の維持メンテナンスについて

問 市道の年間の維持メンテナンス計画を伺う。

答 道路は、すべての人々の最も身近で、生活に密着した公共施設であり、市民の安全・安心な暮らしを守り経済活動を営むためにも欠かせない基盤です。新たなネットワークの整備とともに、日々の道路施設の維持管理も大切と認識し、バランスを取りながら計画的に取り組んでいます。実行上、橋梁や舗装の維持管理は、「藤枝市施設マネジメント計画」に



国道法面からはみ出した雑草

基づき順次、長寿命化施策により、予防保全的な対応を実施しています。

また、道路法面の除草や、防護柵の等の小規模構造物の維持管理につきましては、職員による道路パトロールのほか、地元町内会や市民の皆様からの情報提供、更には「安全安心サポートネットワーク連絡会議」の藤枝郵便局をはじめ18の事業所及び団体からの情報提供により幅広く異常箇所の早期発見に努めています。

問 国道/県道はどのような施策が必要か伺う。

答 地元の皆様には、国一バイパスをはじめ、新東名高速道路の建設時には多大なご理解とご協力頂き深く感謝しています。

現在の法面の管理状況は、国及びNEXCO中日本が除草作業を年1回実施しており、その他に張り出した樹木や雑草についても適宜、除去などの処理を実施しています。地元の皆様からは、法面の草木などのついては、適切に管理するようとの要望がありますが、現在の状況が伴っていないことは、十分に承知しています。国及びNEXCO中日本には、地元の声に耳を傾け、建設当時の地元要望に沿った適切な維持管理を実施していくように、強く要望してまいります。除草時期は、5月から6月、9月から10月と2回が望ましいが、除草については、計画的に効率よく効果的に、書面を以って、本市から提案し、強く要望して本市で進捗管理をしてまいります。



藤新会

数崎 幸裕 議員

平成31年度予算について市長の所見を伺う

問 平成31年度予算の概要は

答 本年度当初予算508億円を上回る。

問 市長は藤枝市内の景気動向をどう見るか

答 中小企業が多く大企業のような好調さは見られないが、総じて景気そのものは「良」と見る。

問 静岡県環境衛生科学研究所の市内進出について

答 環境問題だけでなく、教育学習、災害、健康、医療等幅広く連携して行きたい。

県の大型施設の進出は藤枝市の都市力に繋がる。

問 広域農商工連携による6次産業化は

答 地方創生推進交付金により6次産業化を進める。友好都市・特に恵庭市とは「農商工連携広域ネットワーク」を結び推進していく。

大正大学とは同大学の巣鴨アンテナショップで店頭販売をして、首都圏への販路拡大に取り組む。

問 街道文化のブランド化を活かした産業・観光の振興は

答 文化庁が推進している「日本遺産」登録に静岡市などの近隣市と連携して、東海道の歴史的価

値を一つのストーリーにして遺産登録を目指す。

これにより更なる誘客を見込み観光振興を図る。

問 お年寄りが住みやすい街とは介護難民がいないまちではないか

答 「地域包括支援センター」を充実させ、介護保険制度の充実と安心すこやかセンターの体制強化、認知症施策の推進、在宅医療、介護連携の強化、介護サービスの量の確保と質の向上に取り組む。

問 入管法が改正され本市にも多くの外国人が住む様になる。現在の1600名は2倍、3倍になると思われるがその対策は

答 本市在住の外国人が日本の日常生活に順応出来る様に日本語講座の開設や生活ガイドブック等による啓発活動をして行く。就学年齢の子供がいる場合は学校教育が受けられるよう指導して行く。

日本に夢と希望を持ってくる外国人に就労、就学で不安なく安心して暮らせるように努める。

市内在住の外国人を把握していく為に、ハローワークと協議し万全を期したい。





藤新会

山根 一 議員

藤枝市の道路整備プログラム等について

問 円滑に移動できる交通体系の整備について伺う。

答 幹線道路の渋滞緩和を掲げ都市計画道路等の整備を推進し、移動の円滑化や渋滞緩和を進めている。

問 渋滞箇所と、その削減についての対策を伺う。

答 県道島田岡部線（旧国道1号）の大手交差点や、志太交差点その他を含めて13箇所を把握しており、早急に対応できるものとして、警察協議による信号調整や県道の交差点改良などを要請し、抜本的には志太中央幹線や他の幹線等、南北、東西の交流連携軸となる主要幹線道路の整備が必要と考え、道路整備プログラムに基づき、計画的に対策を行っている。

問 交通渋滞の抜け道として利用している個所に、幼稚園や学校、診療所等有る場所の対策を伺う。

答 地域からの要望も理解しており、対策については警察署との協議等を行い安全確保に努める。

問 最優先道路の志太中央幹線について伺う。

答 県議会において現在事業中の左車工区に引き続き、県が整備する方向で検討したいとの答弁があり、優先的に整備する必要がある次期着手箇所につ

いては、旧国道1号線から西高橋の渋滞解消も図れる、瀬戸川への橋梁架設を含む県道上青島焼津線までを第一優先として、積極的に県と協議を重ねている。志太中央幹線の全線開通は、市民の願いであり、一刻も早く道路が供用され、利便性が高まるよう取り組んでいる。

問 三輪立花線並行部分の柴田石油から平島セブンイレブン交差点の間、歩行者・自転車などが安心して利用できる道路を整備する計画は無いのか伺う。

答 長期着手区間として位置付けているが、歩行者や自転車の安心という観点からは、歩道整備の必要性が高い区間であると考え、当面の通学路の交通安全施策とともに、整備手法を検討していく。

耕作放棄地と農業用水路土手等の雑草除去について

問 耕作放棄地の雑草の刈取指導について

答 雑草被害に関して市民から通報があった場合のほか、農業委員による農地パトロールや、農地流動化専門委員による現場調査などにおいて、雑草の繁茂など、農地の不適切な管理状態が見受けられた場合には、農地所有者などに対し、口頭や文書により、早期に是正するよう適切に指導する。



耕作放棄地



志太創生会

平井 登 議員

改元にもなう市民サービスへの影響について

問 新元号の公表は4月11日以降が有力である。情報システムの改修や発行する証明書、帳票類の窓口対応は心配ないか伺う。

答 平成30年度中に改修プログラムの開発など先行して実施し、新元号が公表されたら迅速に対応できるようにする。また、市で発行する証明書や帳票類の扱いについても市民に支障のないよう対応する。

問 ゴールデンウィークは10連休になる。市民課窓口の土曜日開庁や警備室での休日対応等により市民サービスへの影響はないとも思われるが、行政運営や市立病院の診療・入院等に支障をきたさないために、どのような対策を講じられるか伺う。

答 大型連休中は、宿日直者が婚姻・死亡等の戸籍届の受付や市民からの様々な問い合わせ等に対応している。また、市立病院は連休であっても救急救命センターがあることと、日は未定であるが連休の中日に重篤者は診療できるようにする。

問 行政の広域連携化や課題に鑑みて検討する。

これからの政策立案～形成のあり方について

問 計画や施策の立案・策定手法について、現状把握のための調査と分析、問題と課題の設定、課題解決方法と目標設定等の一連作業はどのような体制で取り組んでいるか伺う。

答 市長をトップとする「行政経営会議」により、方針を決定し全庁的に調整する。策定作業は、ニーズや課題を熟知する担当職員が行う。ただし、専門性の高い分野はコンサル会社等を使っている。また、必要に応じ外部の有識者や市民代表、関係団体等が参画する委員会等から意見を得ている。

問 自治体間競争が激しくなる中、コンサル会社等に依存しない「自前の政策づくり」、「職員・市民が主体的に実行できる政策づくり」が求められていると考える。そこで、市長直属のシンクタンクを新設し、若手の有能な職員とともに豊かな経験と知識、スキルを持つベテラン職員に能力を発揮してもらえよう再任用制を拡大かつ効果的にしたらどうか。

答 行政の広域連携化や課題に鑑みて検討する。

■コンサル会社へ委託した過去3年間の実績

年度	委託件数	委託金額
平成27年度	8件	28,737,720円
平成28年度	9件	33,300,720円
平成29年度	11件	86,528,088円



市民クラブ

岡村 好男 議員

産業振興と  
戦略的土地利用について

**問** 市内中小企業の設備投資の、認定状況と見通し、また、市の設備投資、補助事業の次年度予測を伺う。

答 本年7月からスタートした計画認定は、4カ月間で50件認定、投資計画額は9億円超、さらに国は来年度も助成の継続をしており、固定資産税ゼロと市の補助事業の相乗効果により、計画認定申請は、積極的に、引き続き多数あると見込んでいる。

**問** 南部地域における、土地利用構想づくりの進捗と今後の計画について伺う。

答 大東町地区は「こと日本」の進出が決まり、先行栽培圃場で、白ねぎの定植準備が進められており、平成32年の処理加工施設の完成と共に、将来20ha規模の圃場や契約農家の確保を目指し、地区に相応しい農業的土地利用が進む計画であり、善左衛門地区は新産業ゾーンとして、新たな産業を誘導していくと同時に、地区全体の土地利用は、地元の意向を尊重しながら、構想づくりを進めていく。

人口対策について

**問** 藤枝市の土地高騰が要因で、勤労者の「持ち家」住宅が減少しているが、移住者支援政策として、住宅融資政策の再検討について伺う。

答 現在、勤労者住宅建設資金貸付制度は、1200万円を限度額として貸付を行っている。今後においては、移住・定住促進策の一環として住宅融資制度については、幅広く検討をしていく。

子どもの健全育成について

**問** 児童虐待の「負の連鎖防止」として、NPO法人の設立に、市として期待すること、官民協働事業への支援について伺う。

答 児童虐待については、目黒区の女児虐待死など、痛ましい事件があり、早期の発見と支援が重要である。併せて世代間連鎖を伴う深刻な課題であり、官民が協働して社会全体で取り組むべきであり、今回、市民有志のご尽力により、県内で初めての設立は、今後の道標となり大きく期待する。

本事業については財政面含めて積極的な支援を考えている。



日本共産党

大石 信生 議員

市民会館の現状は  
このままでいいか

(1)空調設備の欠陥について

**問** 10億円で耐震・リニューアルしたが、舞台に空調がない。客席前部の両サイドの吸出口付近は真夏と真冬は耐えられない温度になる。50年前の施設のままで、空調機械だけ替えた結果ではないか。現場から意見が上がっていたが、これが見落とされたか、無視されて工事が



空調の噴出口（上）と吸出口（下）

やられたのは責任問題ではないか。こんな市民会館は他になく、改善は市の最低の責務ではないか。

答 専門家に見てもらい、解決していきたい。

(2)音楽団体から要請されているピアノの更新について

**問** 合唱連盟、音楽協会、ふじの花交響楽団から会館のピアノを更新してほしいと要望が出ているが、進んでいない。焼津も大井川も島田もスタインウェイやベーゼンドルファーという1千数百万円のコンサート

用ピアノをもち、長泉町、小山町はじめ町村レベルもピアノ庫を持った高い水準だ。レベルアップすべきでは。

答 基本的には買うことを前提に進めるが、音楽団体とはウインウインの関係になることが大事である。(3)俳優・仲代達矢氏から指摘された楽屋の異音について

**問** 「俺たちは天使じゃない」という新劇の公演で仲代さんが来たとき、楽屋の天井で音がして「芝居に入る前の集中ができない」と強く言われた。担当課の努力でいったん消えたが、また時々出ているという。

答 改めて、専門的に調べて、無くしていきたい。

(4)15万都市に700席の市民会館でいいか。将来計画を示すべきでは

**問** 大きな公演は採算上組めない。市内の大きな団体は入場を自主規制している。15万都市にふさわしい市民会館か。町レベルでも小山町1000席、長泉町800席、旧伊豆長岡町1000席だ。計画は示すべきでは。

答 リニューアルで利用者が増え、役割は果たしている。人口減少の中、広域圏で役割分担していくことも大事だと考える。

**問** 「選ばれるまち」の市民が、文化的には他市を遊ぶ。先人が「総合的文化施設」建設基金を33億円まで用意した。その気になれば、やれるではないか。

答 基金のことも踏まえて、これから考えていきたい。

# 「元気なまちふじえだ」、真に「選ばれ続けるまち藤枝」のより一層の推進を求め、 藤枝市議会から市長へ提言

市議会では、平成30年度の藤枝市の重点戦略事業等について、成果や課題の整理、施策の評価を行い、市民の意思を的確に次年度予算に反映することができるように、平成31年度の予算編成及び施策の実施に向け、市長へ提言書を提出しました。

提言書は、5つの重点戦略事業を中心に全30項目からなります。

提言書は藤枝市議会ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



## 委員会の行政視察

各委員会では、先進都市・施設等の視察を行っています。

### 総務文教委員会

平成30年  
11月5日～7日

- 青森県弘前市  
弘前市市民参加型まちづくり1%システムについて
- 青森県平川市  
共通投票所の設置について
- 東京都世田谷区  
LGBTに対する取り組みについて



### 健康福祉委員会

平成30年  
10月23日～25日

- 岩手県盛岡市  
子ども未来ステーション、子ども・若者育成支援計画について
- 認定特定非営利活動法人青少年の自立を支える会（栃木県宇都宮市）  
ネグレクト環境にある子供たちへの支援の取り組みについて
- 生活クラブ風の村 はぐくみの杜君津（千葉県君津市）  
「赤ちゃんの家」の取り組みについて



### 建設経済環境委員会

平成30年  
10月23日～25日

- 秋田県横手市  
食と農からのまちづくりについて
- 秋田県湯沢市  
パルシステム秋田南部圏・食と農推進協議会について
- 福島県福島市  
福島市再生可能エネルギーの取り組みについて



### 議会改革特別委員会

平成30年  
10月18日～19日

- 栃木県那須塩原市  
議会改革への取り組みについて（議会改革度ランキング、予算決算審査方法、議会基本条例の見直し等）
- 岩手県北上市  
議会改革への取り組みについて（通年議会導入までの経緯と運営方法について等）



# 11月定例会

11月定例会は、11月26日から12月21日までの26日間の会期で開催しました。平成30年度の一般会計補正予算など12議案が上程され、いずれも原案のとおり可決、同意、適当と認められました。また、議員による発議案2件は原案のとおり可決し、請願1件については不採択としました。

なお、一般質問は12月6日・7日・10日の3日間で行いました。

## 主な内容

- 議会タウンミーティング開催…………… 2
- 11月定例会の審議結果 …………… 3
- 本会議の討論…………… 3
- 常任委員会の審査…………… 4
- 一般質問…………… 6
- 2月定例会のお知らせ…………… 16
- 表紙の写真等募集…………… 16

## 議会だより表紙の写真・イラスト等募集！

市議会では、年4回（5月・8月・11月・1月）ふじえだ市議会だよりを発行しています。開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「ふじえだ市議会だより」にするため、表紙の写真等を募集します。

### ● 募集する写真・イラスト等

- **写真の場合**…市内で撮影された人物・四季折々の風景・まつり・学校行事・地域行事等の各種イベントの写真
- **イラストの場合**…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等

### ● 応募方法

住所・氏名・電話番号・写真の場合（撮影場所・撮影日時を記入の上）、議会事務局へメール、もしくは郵送・持参してください。

### ● 応募上の条件

- **写真の場合**…市内で撮影されたもの。
- **イラストの場合**…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等
- 被写体が人物の場合又は個人の所有物である場合は、必ず被写体ご本人（未成年者の場合は保護者）又は、所有者の承諾を得てください。

- 採用作品の著作権は、市議会に帰属するものとします。
- ご応募いただいた写真は原則返却いたしませんので、予めご了承ください。

### ● 選考方法

市議会広報広聴委員会で決定し、掲載します。

### ● 応募の締め切り

5月20日号の締切⇒平成31年2月27日(水)

※詳細については、藤枝市議会ホームページをご覧ください。また、議会事務局へお問い合わせください。

## お問い合わせ

藤枝市議会事務局（市議会広報広聴委員会）  
 住 所：〒426-8722 藤枝市岡出山1-11-1  
 電 話：054-643-3552  
 メール：gikai@city.fujieda.shizuoka.jp

## 2月定例会のお知らせ

2月定例会は、2月18日から3月20日までの31日間の会期で開かれる予定です。

- 2月18日 本会議1日目（※）  
議案上程・常任委員会
- 27日 本会議2日目（※）  
質疑・討論・採決・代表質問
- 28日 本会議3日目（※）  
一般質問
- 3月1日 本会議4日目（※）  
一般質問・議案質疑
- 4日 現地審査
- 5日～常任委員会  
・予算特別委員会
- 20日 本会議5日目  
質疑・討論  
・採決（※）



（※）インターネットでもご覧いただけます。

## 議会を傍聴しませんか

議会は、どなたでも傍聴することができます。皆様の生活に直結した重要な問題が審議されます。お気軽にお越しください。



受付にて傍聴券を受けとって傍聴します。住所、氏名などを記入していただく必要はありません。

ふじえだ市議会だよりを本年もよろしく願い申し上げます。  
 昨年10月の議会タウンミーティングは、市内4か所の総計で165人と、これまでで最高の参加者数で活発なご意見・ご要望・ご提言をいただきました。

議会の取り組みや活動を皆様に知っていただく場として今後も開催してまいります。

皆様がより気軽に参加できるように、また、女性や若者の参加者が増えるように工夫していきたいと思っております。

広報広聴委員 増田克彦

## 編集後記

題字：議長 西原明美

【編集・発行】藤枝市議会（藤枝市岡出山一丁目11番1号）  
 ☎054-643-3552 FAX054-646-2030  
 E-mail gikai@city.fujieda.shizuoka.jp  
 URL http://www.city.fujieda.shizuoka.jp

